

浜寺ポート

大阪府堺市



浜寺ポートの田中龍海氏。主にサービス業務を担当している

『自社所有艇』へのこだわり

「事業の一つの柱として、『自社所有艇』というキーワードは外せない。うちの看板娘みたいなモンですね」と話すのは浜寺産業(株)サービス担当で三代目の田中龍海(たつみ)氏。二代目に続いて、彼もまた兄弟で事業を行っている。

通称『浜寺ポート』の呼び名で知られる同社は、大阪に店を構える創業42年の老舗企業。ポート、ヨットの製造、保管、販売をはじめ、ポート等のトラック陸送やエンジンの販売等、多角的な事業を行っているが、何よりも同社の中古艇の再生技術は高い。

販売事業もユニークだ。同社の工場には、全国各地から集められた中古のポートやヨットが丁寧にレストアされ、陸置されている。そのほとんど

の船は自社で買い取り、再生・販売しているため、多くの事業者が行っているような『仲介販売』の姿はここにはない。

「例えば広告を出してる会社に関西なのに、船は九州にある……なんて無責任なことはウチはできません。自分たちの目で見て、納得したものを仕入れて、納得した形と価格で販売する。しかもここに来ていただいたら全部見ることができます。この時代、ホームページもそろそろ作らないと、とは思ってますが(笑)」と同氏。

同社の再生技術は、レストア前の船が全く別の船によみがえる。例えば、ヤマハ製の26フィートのパワーボートに装備されていたガソリンのインアウト2基掛のエンジンを、ディーゼルの1基掛に乗せ換える。船体は船底塗料をすべてはがし、サンディングしエポキシ塗装……といったことがここでは日常茶飯事的に行われているのだ。しかも記事下の写真に掲載している船(ワンオフ38)は、進水が昭和54年。同社の技術力の高さをうかがえる仕上がりになっている。

「当然、ウチが仕入れた船を再生して売っただけじゃなく、お客様が所有されている船を再生することもできます。要は船を通じ、お客様の人生をより豊かにすることが仕事であり目的です

よ。モノ売りだけじゃない。『船を始めたいなあ……』『船を乗り換えたいけどお金がね……』なんていうお客様の悩みを、ウチなら色々な角度から解決・提案することができる。技術だけじゃなく経験や知識もあるし、それだけの努力もしてきました」

まだまだ乗れる船を再生することで、そのメリットはユーザーに還元され、船は愛され続けていく。バブル時代とは違った価値観をここに見た気がする。

「これからもいろんなことに挑戦していきたいと思っています。技術には自信があります。新艇も面白いし、最近では6mカッターを作ったりしてます。豪華絢爛なマリーナはウチにはないですが、そもそもお客様はそんなものを望んでいないように感じるときがある。

ここ数年間を見ただけでも価値観というのは間違いなく多様化してますよ。ライバルは同業他社だけでなく、インターネット業界にも及んでいる。ネットで時間をつぶすより、海に浮かぶ時間のほうが圧倒的に楽しいんだと思っていただかないといけな。マリン人口の裾野を拡げるためにも、『船のあるライフスタイル』の素晴らしさを伝えていきたいですね。

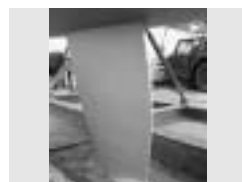
難しい時代ですが、面白い時代でもあります」



ガソリン2基掛のエンジンを、ディーゼルの1基掛に載せ換えられたヤマハPC-26



レストア作業中のヤマハSR-25、こちらもエンジンを1基掛に換装作業中



ヨットのキールは、錆を落とし磨いたうえで、FRPでコーティングする処置をほどこす



レストアされたワンオフ38。エンジンのオーバーホールや新品スラスターの艦装などが行われた



ヨットのステイ、ワイヤー(直径16mmまで)ターミナルの圧着加工(スエジング)なども行っている



浜寺ポートのスタッフ。田中社長(右)田中専務(左)を中心にレストア作業を行う



ヨット、ポートとも全国陸送可能



再生された船がオーナーのもとへ戻っていく



レストアがほぼ終わり、買い手を持つだけのセーリングクルーザー



完全オーバーホール済みから、整備済みまで在庫・展示している

浜寺ポート 浜寺産業株式会社

〒592-8333 大阪府堺市西区浜寺石津町西 5-10-17

TEL:072-262-3222 FAX:072-262-8511 マリーナTEL:072-265-6527 定休日:火曜日